



ともしび

— TO MO SI BI — 第358号

2026(令和8)年2月号

「温かな光に包まれて」

毎日寒い日が続いてますね。
立春の候、みなさん、いかがお過ごしですか。

立春とは、春が始まる日と言われているようですが、実際のところは立春を過ぎても、朝夕の冷え込みはなお厳しく、吐く息の白さに冬の名残を感じます。なお、立春の前日が、豆まきでおなじみの「節分」です。ちなみに、浄土真宗は祈禱やお祓いが必要としないと味わっていく教えなので豆まきはいりません。

さて、節分・立春と聞くと「季節が切り替わる」節目を思いますが、スイッチを押すように突然季節が変わるわけではありません。そして、私たちの心もスイッチを押すようには切り替わらないもの

です。元気を出そう、優しくしよう、感謝して生きよう—そう思っても、ついイライラしたり、他と比べて落ち込んだり、言わなくてよい一言を口にしてしまったりします。

浄土真宗は、そんな私たちの“できなさ”を出発点にします。

よい人になれたら救われる、頑張ったら成仏できる、という道ではありません。阿弥陀さまの本願は、「あなたがどんな心であつても、どんな歩みであつても、決して見捨てない。必ず仏のさとりへと導く」という、すでに私に届いているはたらきです。だからこそ、私たちは安心して、自分の弱さも含めた“ほんとうの姿”を見つめ直すこ

とができます。二月は昼間の時間が少しずつ伸び、梅のつぼみもほころび始めます。春は、努力のごほうびとして来るのではなく、自然に訪れて私たちを包みます。阿弥陀さまのはたらきもまた同じく、私の都合を待たずに、すでにここに届いています。今月もどうぞお寺で、仏さまのお話に耳を傾け、日々の暮らしを照らす“あたたかな光”に出遇ってまいりましょう。

その他のお知らせ

除夜会・元旦会

除夜会 12/31 (水) 16時～
元旦会 1/1 (木) 7時～

今年も大晦日に除夜会、元日に元旦会を行い多くの方にご参拝いただきました。
近くの団地や小学校に配ったチラシを見て来院された方も多数おられました！



熊谷会長も除夜の鐘を打ちました



新年互例会にて

御命日法座

ご講師：八田泰観 師（千葉県 光臺寺）

1月11日(日) 午後1時～

1月は親鸞聖人の御祥月でした。八田先生の法話を聞きながら、皆様とご一緒に親鸞聖人の遺徳を偲ばせていただきました。



千葉県旭市よりお越しいただきました



新年初のお供物ジャンケン

その他のお知らせ

東久留米分院からのお知らせ

2026年の年忌表

今年の年忌法要は、下記のとおりです。法要の予約は、お早めに！

法要種別	一周忌	三回忌	七回忌	十三回忌	十七回忌	二十三回忌	二十五回忌	二十七回忌	三十三回忌	三十七回忌	四十三回忌	四十七回忌	五十回忌	百回忌
ご往生された年	令和7年（二〇二五年）	令和6年（二〇二四年）	令和2年（二〇二〇年）	平成26年（二〇一四年）	平成22年（二〇一〇年）	平成16年（二〇〇四年）	平成14年（二〇〇二年）	平成12年（二〇〇〇年）	平成6年（一九九四年）	平成2年（一九九〇年）	昭和59年（一九八四年）	昭和55年（一九八〇年）	昭和52年（一九七七年）	昭和2年（一九二七年）

東久留米分院では、法要の前後倒し・お葬儀のやり直しができます。

さまざまな事情で、法要や葬儀を行えなかったまま時間が経ってしまった—
そのような方から「今からでもお願いできますか」「命日の前後でも大丈夫でしょうか」といったご相談を、近年多くいただいています。

東久留米分院では、法要の日程を前後にずらしてお勤めすることや、
あらためて葬儀を行うことができます。

「今さら…」とためらう必要はありません。

どうぞ安心して、お気軽にご相談ください。

奉讃会からのお知らせ

2月の「東久留米会館奉讃会 清掃奉仕活動」は都合によりお休みします。

毎月第1日曜日に行っている東久留米会館奉讃会の清掃奉仕活動ですが、
まだまだ寒い日が続いており、活動に支障をきたす恐れがあるため、2月の活動
は、お休みとさせていただきます。3月の奉仕活動の有無は次回の寺報でお知らせ
いたします。

[奉讃会 会長：熊谷 武]

その他のお知らせ

▶ 2月の行事予定

※ 2月は境内清掃ありません

・常例法座（仏様の教え）

法 話：稲葉空土 師（東京都 恵光寺）

・お勤め勉強会

お勤め：伊藤主管

2月8日（日）午後1時～

法話とは、分かりやすい仏様のお話です。

法話の後に、お勤めの勉強会も行います。

お気軽にご参加ください！

御命日晨朝 総参拝

2月16日（月）午前7時～

月に1度の親鸞聖人御命日に、私たちと一緒に
お寺で朝のお参りしませんか？

参拝された方には、お供物をお渡しいたします。

▶ 3月の行事予定

春季彼岸会

3月20日（金祝）午後1時～

法 話：宮本廣宣 師（神奈川県 高願寺）

過去帳をご持参くだされば、仏さまの前に謹んで
お供えします。どなたでも参加いただけます、ぜひ
お参りください。

先月のご進納

【お仏飯米】

山下 肇 様

【その他のご進納】

神谷正弘 様（順不同）

誠にありがとうございました。

編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただき
ありがとうございます。

新年になったばかりとあっていたら
気がつけばもう二月。この調子だとあつと
いう間に年末になってしまふんじゃない
かと思う今日この頃です。ジャーネーの法
則によると、新しい刺激が減ると時間が
経つのが早く感じるのだとか。要するに
慣れが原因ということでしょう。日常生
活には慣れも必要ですが、いま命がある
ということには慣れてしまわないよう、
感謝の心を忘れずにいたいものです。

東久留米会館会報「ともしび」

通 刊 358号

発行日 2026年2月1日

発行者 伊藤 法友

住 所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電 話 042-474-6787